

第2回定例会で行った10人の議員の一般質問を紹介します。



みやざわたかし
宮澤孝司 議員
「令和公明クラブ」

無電柱化工事の進捗状況は 令和8年度に全て完了予定

市街中心部の本町通りでは、上下水道の移設、電線共同溝の埋設、歩道のバリアフリー化等の整備により、無電柱化が進んでいる。着工から6年が経過するが、無電柱化工事の進捗状況について伺う。

路管理者による無電柱化工事が進められており、国道233号は令和6年度中に完了予定です。道道深川雨竜線は、当初計画では令和10年度までの約10年の事業期間を見込んでいましたが、全区間の電線共同溝完成後に入線、電柱撤去を開始する方式に変更するなどし、

現状は8年度中の完了を見込み工事が進められており、おおむね順調に進捗しています。

歩行に支障を来している。令和8年には駅西側に複合施設を建設予定だが、今後の歩道整備の考えを伺う。

北海道では無電柱化及びバリアフリー化事業を推進しており、現在進められている道道深川雨竜線に加え、その後は道道旭川深川線の整備が予定されている。

定されています。これから2路線の整備が完了した後に、駅前通り歩道のバリアフリー化整備を計画していることを北海道に確認していますが、時期は未定となっております。複合施設の建設も踏まえ早期の事業着手に向け、引き続き北海道への要請活動を継続してまいります。

無電柱化の推進：
北海道開発局HP



無電柱化された市道蓬萊通線



うどうまさお
有働正夫 議員
「公政クラブ」

市の人口減少対策について 人材育成で推進体制を強化

民間組織の人口戦略会議が発表した報告書では、深川市を含む北海道内の117市町村は将来的に消滅の可能性があるとされた。魅力発信を行う専門人材の育成など、市の人口減少対策について伺う。

している地域おこし協力隊と移住支援員を配置し、移住希望者に寄り添った支援を行っています。また、昨年10月に実施した機構改革では、人口減少対策と移住・定住施策が一体的に推進できるように、まち未来推進課を新設し、推進体制を強化した中で人材育成にも取り組み、

今後とも国の動向や社会情勢の変化に柔軟に対応し、魅力あるまちづくりに取り組んでいきます。

ルギーを持つ方への配慮など、対応策をしっかりと考えておく必要があるが、市の考えと対策について伺う。

ールの例として、ペットは避難者の居住空間ではなく、別室を設けゲージ内で飼育するか、屋外のひさし等がある場所に飼育場所を確保することなどを定めています。災害時の対応について、引き続き防災教室や防災訓練の機会を活用し、周知に努めてまいります。

避難所運営マニュアル等について：
市HP



まつばら
松原やす子 議員
「日本共産党」

救急患者の対応について 治療を第一に考え対応する

市民が早朝に転倒し救急車を要請した際、市立病院へ搬送されず他市の病院に搬送され、なぜ市立病院に搬送されないのかと疑問を抱いていた。他市の病院へ直接搬送される場合の対応について伺う。

入要請等があった場合は、患者の容態について報告を受け、受入れの可否を決定しています。なお、整形・産科事案で医師が専門的な治療が必要と判断した場合は、近隣の医療機関へ直接搬送することとしており、特に整形事案は、救急隊からの報告だけでは確定的な診断

が困難な状況もあるため、治療を第一に優先し救急対応に当たっていく考えです。

が保育園を利用でき、令和8年度から本格実施される。本制度の利点や欠点、今後に向けた市の考えを伺う。

れている試行事業では、子供1人当たりの利用時間は月10時間が上限とされ、子供が施設に慣れるための十分な時間が確保できない欠点が指摘されています。在園児に対する安全な保育環境を確保しつつ、本制度が円滑に開始されるよう保育所等を支援してまいります。

子ども誰でも通園
制度：子ども家庭
庁HP





さ さ き かずお
佐々木一夫 議員
「れいわ新選組」

道の駅独占状態は問題では 特段制限のない公募で適切

◎ 市民の公共財産である道の駅では、昨年末に募集要項を改悪しテナント公募、応募者複数にもかかわらず1社の3コーナー独占が続いている。行政の公平性と公共施設の在り方として問題と考えないか。

◎ 市長の市議時代、庁舎建設工事落札率100%契約議案への私の反対討論に議事進行し、発言

ており、公共施設におけるテナント選定として特段の問題はないと受け止めています。

削除に連なった。豊頃町不正入札を新聞は落札率98%と報じた。落札率95%超は談合の疑いは社会常識では。

ました。なお、他町で起きた事件は大変遺憾なことであり、あつてはならないことと考えます。また、落札率95%超の入札は談合が疑われるという見識が社会の一部に存在することは知っています。が、市としては、その見識が社会常識といった考えには立っていません。

道の駅ライスランドふかがわHP



道の駅ライスランドふかがわ



あきら
新田 旺 議員
「民主クラブ」

市外イベントで市のPRを 引き続き魅力発信に努める

◎ さっぽろオータムフェストなどの市外イベントへの参加は、市の魅力をPRできる絶好の機会だと思ふ。市内の飲食店や特産品を扱う事業者と行政が一体となり、市外イベントへ参加する考えを伺う。

◎ 市外でのPR活動は、ふるさと納税や事業者支援につなげる重要な取組と捉えており、コロナ禍以前は、市内事業者と共にさっぽろオータムフェスト等に出展していました。令和5年度からは深川物産館と協力し東京都江東区や宮崎県都市でのイベント参加や、都市部を中心とした活動に注力し一定の成果が上がった。

◎ 近年、若者の摂食障害患者数がコロナ禍以前より1・5倍に増加して

おり、摂食障害に悩む家族を行政が支援する取組の例もある。こどもまんなか社会の実現にも資するところだが、市の考えを伺う。

施しています。本市では、市民から摂食障害に関する相談があった場合は、保健師や管理栄養士等による丁寧な対応を行い、医療機関や保健所、精神保健福祉センター等の関係機関へつなげていくほか、健康教育などの機会を活用し、正しい知識の普及に努めていきます。

精神保健福祉センター（相談のご案内）：北海道HP



市外イベントでのPR活動



おおまえあきよ
大前昭代 議員
「民主クラブ」

障がい者雇用の支援体制は 関係機関と協力し就労支援

◎ 障がい者の雇用数は20年連続で過去最多を更新したが、法定雇用率達成企業は全体の約半数にとどまっている。障がい者の意思決定に寄り添う就労支援体制の構築が必要と思うが、市の考えを伺う。

◎ 障がい者支援センターあつぷるでは、一般就労への移行に際し、ハローワーク深川への同行支援を行っているほか、ハローワーク深川では、ハローワーク滝川に在職する障がい者雇用の専門職員と連携した相談対応や、雇用事業主に対する費用助

成などを行っています。今後も障がい者の社会参加に向け、関係機関と協力し取り組んでいきます。

◎ 認知症患者と認知障害の割合が増加し、30年後には65歳以上の3人に

1人が症状を持つと予想される。尊厳を保持し希望が持てるよう共生社会構築に向けた考えや施策を伺う。

認知症サポーターになりませんか？市HP



認知症カフェのチラシ



伊藤美恵子 議員
「民主クラブ」

プラスチックごみの資源化 関係団体と連携し検討する

◎ 地球温暖化対策、プラスチックごみによる海洋汚染対策など、環境に配慮した循環型のごみ回収・処理が求められている。プラスチックごみを燃やせるごみから、資源ごみとして回収する考えを伺う。

◎ 現在、プラスチックごみは、燃やせるごみとして収集後、北空知衛生センター組合の中継施設を経由し、中・北空知廃棄物処理広域連合の焼却施設で処理を行っている。プラスチックごみを資源ごみとして収集するには、市民の皆さんの理解と協力を得ることが必要であり、関係する団体や自治体と十分連携を図

りつつ、協議・調整を進め、地域の将来にとって、より良い方向となるよう取り進めていきます。

◎ 子ども・子育て条例の制定について
◎ こども基本法に基づく子ども・子育て条例の制定が今年度中に予定されており、子供に関する

施策や支援体制の充実が期待される。本条例の目的や基本的な考え、条例制定までのスケジュールを伺う。

こどもまんなか応援サポーター宣言
：市HP



村上 誠 議員
「公政クラブ」

若者の意見を聴く機会を 意見を聴く場の開催を研究

◎ 市内在住の若者と意見交換会を実施し、市に対して多くの意見や期待を持っていると感じた。市内小中高校生、短期大学生が自由に話し合いのできる場を設けてはどうかと思うが、市の考えを伺う。

◎ 若者が地域に関心を持ち、ふるさと深川への誇りや愛着を育むことは、まちづくりを進める上で大変重要なことと考えており、これまでも中学生を対象としたふるさと深川未来への提言パネル展等を実施しています。また、新たな取組として、6月28日から市内5地区で開催する市長タウンミーティングの開催状況等

を踏まえ、市内小中高生、短期大学生の市政に対する意見を聴く場の開催を研究していきます。

◎ 市立病院の分娩対応について
◎ こどもまんなか社会にに向けた取組を本年度の重点事業と位置づけている市にとって、安心して

出産できる体制を構築することも必要と思う。市立病院におけるこれまでの分娩対応と今後の考えを伺う。

深川市立病院HP



深川市立病院



田畑陽美 議員
「民主クラブ」

少子化対策について 全庁的に支援策を検討する

◎ 令和5年度の出生率は過去最低を更新した。少子化の要因である婚姻数の減少は、経済的な不安感なども背景にあるため、結婚を望む方々に対する経済的な支援も必要だと思うが、市の考えを伺う。

◎ 少子化が進む背景には、未婚化や晩婚化をは

じめ、雇用状況、社会経済情勢、子育ての負担感、住宅の問題など、様々な要因があるとされています。このため、結婚支援を含め、雇用、出産、子育て、住宅など切れ目のない支援の在り方について、全庁的に検討を行う必要があると考えており、庁内における体制づくり

を進める中で、有効な支援策を検討していきたいと考えています。

◎ 循環線の状況とダイヤ改正の考えは
◎ 路線バス循環線の経路・ダイヤ改正から4年が経過しているが、改正前との乗車状況の変化はどうか。また、定員12人

市内路線バス「循環線」：市HP



8月から運行開始予定の路線バスの小型車両

掲載以外の質問項目

質問内容は、深川市議会YouTubeチャンネルやホームページの一般質問通告表で確認できます。

深川市議会
YouTube
チャンネル



一般質問
通告表



■宮澤 孝司 議員

- ・公立高校の給食について
- ・補聴器の利用について
- ・他自治体との交流について

■有働 正夫 議員

- ・いじめについて

■松原やす子 議員

- ・家屋のアスベスト問題について
- ・地方自治法の改正案について

■佐々木一夫 議員

- ・畑地化促進事業に伴うソバ生産の影響について
- ・食料・農業・農村基本法について
- ・教員の過重労働負担軽減と社会的影響について
- ・職員労働組合事務所について
- ・市立病院診療放射線課管理職員の市議会に対する虚偽報告について
- ・公園及び学校のカラス対策について
- ・放置されている火災家屋について

■新田 旺 議員

- ・熊などの有害鳥獣対策について
- ・独自財源確保の取組について

■大前 昭代 議員

- ・更年期障害の支援について
- ・保育士の働き方改革について

■伊藤美恵子 議員

- ・中学校の制服購入費の助成について
- ・身寄りのない方への終活支援について

■村上 誠 議員

- ・深川市農業振興計画について
- ・中小企業支援事業について

■田畑 陽美 議員

- ・町なかの活性化について

■松本 雅祐 議員

- ・地域医療における市立病院の対応について
- ・小学校配置方針について
- ・道の駅ライスランドふかがわのオストメイト対応トイレについて



まつもとまさひろ
松本雅祐 議員
「令和公明クラブ」

軟骨伝導イヤホンの導入は 当面は現状の運用を継続

◎ 清潔で音声明瞭、音漏れがない軟骨伝導イヤホンは、耳の聞こえづらい方との大きな声での会話を避けられ、プライバシー保護の観点からも有効と考える。市役所窓口対応における導入の考えを伺う。

◎ つた場合は、必要に応じ個室に案内しており、現状、窓口対応で特段の支障は生じておらず、一部の窓口に設置している助聴機の利用もほとんどなく、来庁者の皆さんから現状の対応以上の要望などを伺っていないこともあり、当面は現状の運用を継続したいと考えています。

◎ 今後、状況の変化などがあつた場合は、その都度、対応を考えていきます。

◎ 不登校の児童生徒の学びの保障は、す。今後、状況の変化などがあつた場合は、その都度、対応を考えていきます。

◎ 学校以外でも学べる環境を整備し、できる限り学びの保障に努めています。不登校の児童生徒への支援については、教育行政方針で社会的目立と学校復帰に向けた支援を行うとしていることから、一人一人に寄り添った対応と学びの保障に取り組んでいく考えです。

深川市教育支援センター：市HP



教育支援センター「しらかば教室」